

予報期間 10月6日から10月12日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第27号、第28号、第29号については最新の台風予報を参照。
- 8日から9日にかけて、高気圧が日本付近から日本の東に移動し、気圧の谷が日本の南を西進する。
- 10日から12日にかけて、気圧の谷が日本海から日本のはるか東に進み、高気圧が朝鮮半島付近から日本の東に移動する。

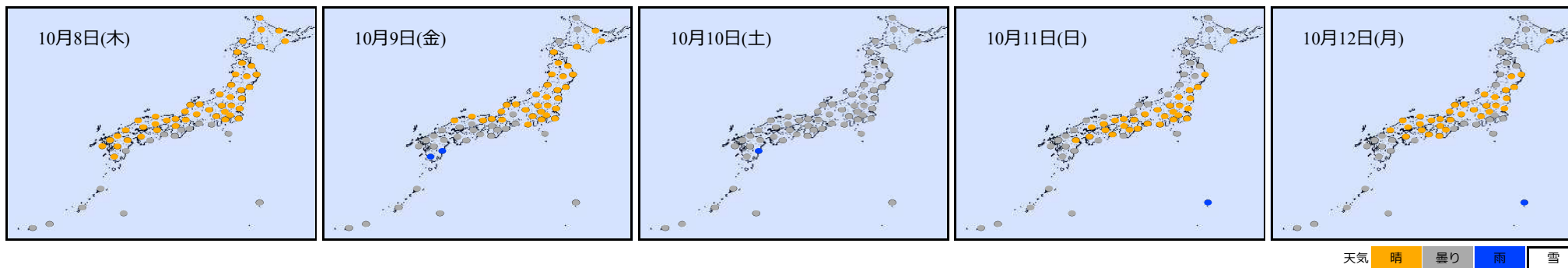
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

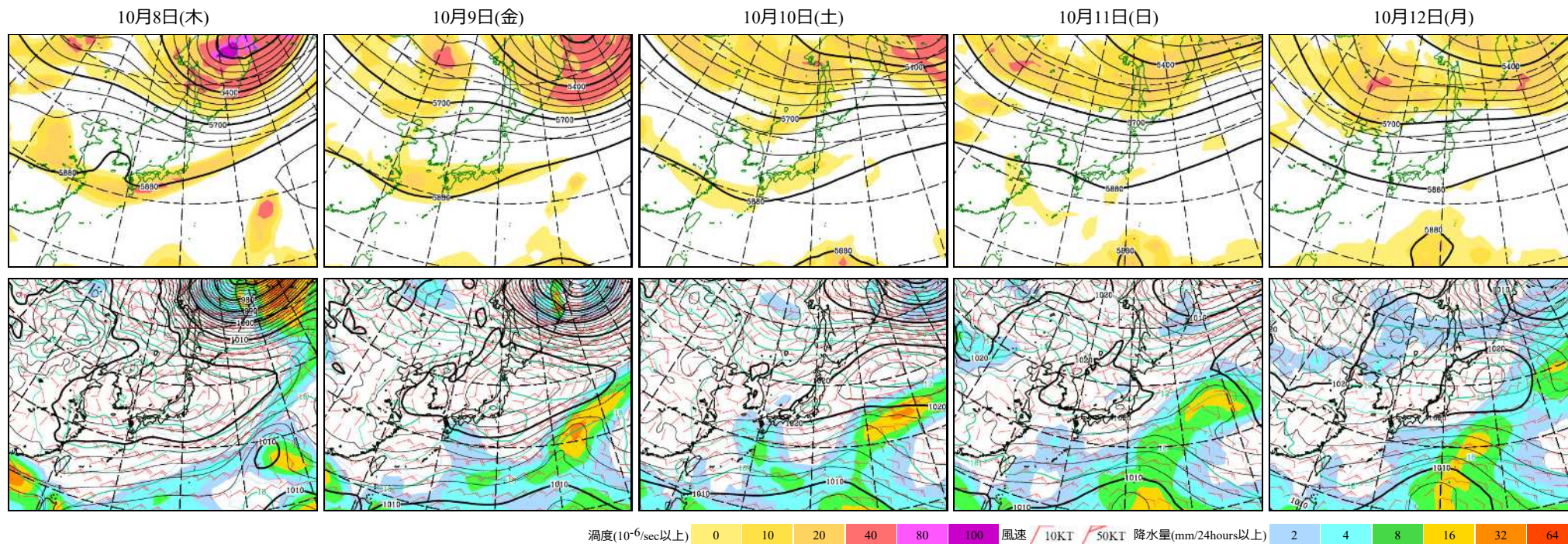
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

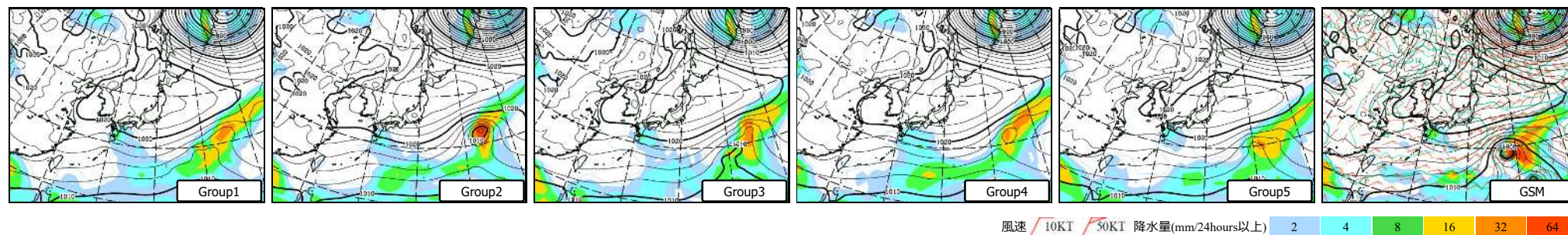


- 北日本と東日本は、曇りや晴れの日が多い。
- 西日本は、曇りや晴れの日が多いが、9日と10日は雨の降る所がある。
- 沖縄・奄美は、雲が広がりやすい。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆10月9日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、8日から9日にかけて千島近海から千島の東へ進むトラフと、9日から11日にかけて中国東北区から北日本付近にかけて進むトラフが遅く、浅くなった。11日に中国東北区付近に進むリッジも遅くなった。地上は、8日から10日にかけて日本海から日本の東に移動する高気圧が遅くなった。10日から11日にかけて日本海から日本の東に進む気圧の谷が弱まった。
- スプレッドは昨日に比べ11日までは小さくなったが、12日は大きくなり、特定高度線のばらつきもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。